



万博で「がん細胞診断支援システム」を展示  
株式会社ブレイン  
代表取締役社長 神戸 壽さん

# クローズアップ

—今、「旬」の人や団体をご紹介—

## 世界初のシステムで命を救う

人口知能（AI）による、がん細胞診断支援システムを開発した、株式会社ブレイン（鹿野町）。大阪・関西万博で世界に向けてその技術アピールしました。

システムの開発は、平成29年にテレビで自社のパン自動認識技術「BakeyScan」が紹介された際に、放送を見たルイ・パストゥール医学研究センター（京都市）の研究者から「パンががん細胞に見えた。がんの細胞診断に技術を応用できないか」との相談を受け

たことがきっかけでした。「獨創性」を大事にしてきた代表取締役社長の神戸壽さん。医療分野は未知の領域でしたが、「私が前年にがんの手術を経験したことから、早期発見に役立てたい」との思いで前例のないシステム構築を決意しました。

自ら開発メンバーの中心となり、同センターの研究者に指導を受け、一から勉強しました。試行錯誤を重ねながら、ついにAIを活用した尿路上皮がんの細胞診断支援システムの開発に成功しました。

このシステムはがん細胞を見分けるために、形状や大きさなどを数値化するもの。病理医による細胞診断は一日50例が限界でしたが、この技術で一日200例を目指せるようになり、今年3月には子宮頸がんの検出も可能になりました。現在は国立がん研究センターで有効性の検証を進めています。

「がん患者を一人でも減らしたい」と神戸さん。11月の万博で展示された細胞診断体験ゲームに触れることができます。

## いきいき♪ にしわきっ子



えいと 宮崎瑛叶君 7歳  
くうと 空叶君 6歳  
ゆいと 結叶ちゃん 5歳4か月  
元気過ぎて困ります！  
健二さん・亜耶さん（大野）

### お子さんの写真が広報紙に登場！！

お子さんのとびっきりの笑顔、きょうだい仲良く遊ぶ姿などの、とっておきの1枚はありませんか。写真データを添付したメールをお送りください。

- ▶対象 市内在住のおおむね12歳までのお子さん
- ▶申込方法 メール本文に、次の①～⑥の入力をお願いします。
- ①お子さんの氏名（ふりがな）
- ②生年月日
- ③保護者の氏名（ふりがな）
- ④住所
- ⑤電話番号
- ⑥お子さんへのメッセージ（10字程度）
- ▶その他 写真データは500キロバイト以上推奨
- ▶申込み・問合せ 秘書広報課（市役所内線3051）

QRコードを読み取ると、専用フォームにつながります。



「広報にしわき」は市民の皆さんとともに作っています。情報をお寄せください。

発行／西脇市 編集／市長公室秘書広報課 西脇市HP / https://www.city.nishiwaki.jp 発行／西脇市 編集／市長公室秘書広報課 西脇市HP / https://www.city.nishiwaki.jp

